

セミナーのお知らせ

がん細胞におけるhTERTのRdRP活性とR-loop制御

テロメラーゼ逆転写酵素（hTERT）は、テロメアを伸長する逆転写酵素活性として知られている。一方で、我々は、リン酸化されたhTERTがテロメラーゼ活性とは異なるRNA依存性RNAポリメラーゼ活性（RdRP活性）を示し、がん細胞でRNAを合成して腫瘍形成に寄与することを明らかにしてきた。さらに最近、このhTERTがRNAプロセッシングに関わる核内構造体である核スペクトルに局在し、ゲノム内のRNA/DNAハイブリッド（R-loop構造）の解消を促すことを明らかにした。また、このR-loop制御機構は、テロメラーゼ活性に依存しない非上皮系悪性腫瘍、例えば肉腫にも見られることが確認された（Machitani et al. Nat Cell Biol. 2024）。本セミナーでは、これらの研究成果を紹介し、hTERT-RdRP活性の新たな治療標的としての可能性について、最新のデータを交えて議論したい。

町谷 充洋 先生

国立がん研究センター研究所
がん幹細胞研究分野 ユニット長



日時 2024年12月19日（木）
16：00-17：00

場所 微生物病研究所 本館1階
微研ホール

※本セミナーは大学院医学系研究科及び生命機能研究科の単位認定セミナーです。



RIMD
Research Institute for
Microbial Diseases
大阪大学微生物病研究所

【連絡先】
微生物病研究所 分子生物学分野
原 英二
ehara@biken.osaka-u.ac.jp